（九日夕刊）
磐城新聞
休刊 祭日の翌日　定價 壹枚二錢、壹ヶ月五十錢、郵税十錢　廣告料（一行五十錢指定廿錢増）
發行兼編輯印刷人 蓮沼龍輔
發行所 福島縣平町田町拾六 磐城新聞社 電話五六四番

磐中と磐女の卒業生の就職
夫れ〳〵思ふ先に 俸給その他調べ

磐中、磐女を卒業する生徒の標準でのうちには夫れ〳〵上級學校に向ふ者、或は就職するもの等あるが社會の荒浪に漕ぎ出でようとする人々は上は大學から下は小學校まで何十萬とあり今年も相變らずの不況で職を得る事は一層困難になつて來たやうで毎年ひつぱりだこで就職してゐた女子大學の高等師範 科なども今年はまだきまつたものが有様年々一定の人員を採用してゐた官廳役所でも豫算の關係で採用を中止するの向が多く、また採用するにしてもやりくりして最小限にとどめる有様それでも確實な會社、商店では昨年と大差なく採用することになつてゐて既は銓衡を初めた所もありますが

採用方針 はどこでも身体が頑健で人物が確な事を第一條件としそれに意思が強固で勤めに長續きする事を求めてゐます。待遇は昨年と大差なく大會社方面では官立大學卒業生が八十圓、大學令の私立大學の七十五圓、專門學校六十圓、實業學校四十圓乃至四十五圓、女店員事務員三十圓乃至三十五圓といふ所が大体

貯金局今年は採用中止、四月になつたら豫算の都合で男女事務員を若干採用するかもしれない、鐵道局大學、中學校、女學校卒業生から適宜銓衡の上採用するが募集はしない安田貯蓄甲種商業卒業生を五十名採用しました待遇は月俸卅五圓、女學校卒業者一名採用

石炭聯合會の總會議案
理事三名を増員

石炭礦業聯合會は七日丸ノ内工業倶樂部で理事會を開き四月下旬ノ總會に附議すべき議案決定した
一、理事三名増員の件
一、會費徴收の件については現在通り（送炭一噸につき二厘約付）据置にすることとなつた
なほ全國財炭狀況につき報告したが、二月中旬の全國財炭高は二百萬二千噸で同月末は更に右より五萬噸減少の見込と、次に送炭制限率緩和につきとかくの噂あるも財炭が百五十萬噸程度となるまでは實現困難であると見られてゐる

錦信用認可
八日附で指令下る

石城郡錦村の有限責任信用組合設立に就ては縣に許可申請中であつたが三月八日附を以て縣內務部長より石城産業組合尾形農林技師宛許可の通知があつた

早い花見の相談
平土木委員會

平町役場では八日午前十時から土木委員會を召集、花見時に於ける平町松ケ岡公園地內の賣店敷地一時使用料その他の協議をなしたが右使用料は大體例年通り決定する筈である

石城銀行組合で預金の利子引下
來る十一日から實施 引下げ率は一厘

石城銀行組合幹事會は七日午後五時から平町磐越銀行に於て開催預金利子引下について協議した結果大なる議論もなく左の如く決定し十一日から執行することになつた
定期預金　年利五分五厘以下
當座預金　日歩七厘以下
特別當座預金　日歩一錢一厘以下
通知預金　一錢三厘以下
で從來に比較して定期預金は六七厘の利下げ當座預金以下は一厘乃至二厘の引下となつた

漁船機關士
試驗場で講習會

小名濱町水産試驗場では來る二十三日より參等機關士驗を施行する事となつたが受講申込み者四十五名に達し内三十四名は這般開催された漁船機關士講習會の受講者であるを

笑ふ女
岳田宏光

黒い窓に喰ひついた女の
眞赤な白粉の顔のおくどい笑ひ
をんなよ
金のいらない製紙場のインバイ婦よ
百しよ！の電燈わた前の額に 道化た悲みのカルカチユアを畫くだらう
女よ、赤いメレンスの春と
くされ落ちた肺を
機械の糸屑とつないた
墓地の道化たインバイフよ
夜と晝に
太い線を畫いた製紙場のインバイフよ
お前の桃色の夢わ
赤いメレンスと白粉の中に
鋭くむしくつた灰色の墓地かい
笑ふがいゝ黒い夜の窓で
お前の遠い夢を

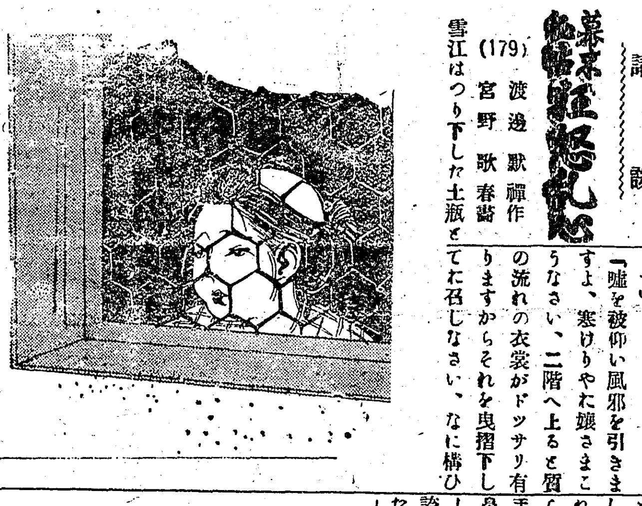
讀者欄
新民謠の發生
白鳥省吾

新民謠は新しい時代の産物でこれまでの民謠を一層私達の生活に密接ならしめ郷土を愛し藝術を愛し人間相互の和樂を増すといふこといまでの民謠の特質を更に高調するために生れたものであります、新民謠は××小唄××音頭××節といふやうな名である詩、文學的な歌詞の新作に理解ある音樂家の作曲を附したものであつてこれまでの民謠が作者も作曲家も多く不明であるのとは類を異にしてゐます從つて現代人の思想感情に密接であり同時に郷土を深く理解した處からのみ生れます、民謠は傳統的なものであるけれども、新民謠はその歌詞も作曲もあくまでも新鮮で吾等に生活の喜びを感じさせるものでなくてはならない そして在來の民謠は野山の唄にある本質を失ひ紅燈線酒の巷に口誦さまれる場合が多さに比し、その本質を新時代風に取りかへし眞に健全に一般人の生活の讃美勤勞の讃美といふものを主要點としたいのであります歌詞も作曲も堅からず柔かに過ぎずしかも藝術味がある六歳の童子も大人も合唱して明るい氣分で樂しめるものこそ新民謠の特質であります。新民謠はこれまでの民ようが少くも二三ケ國に跨がつて唄はれてゐるのに比し、その範圍が狹い場合も多いそれは特に一地方の名稱や温泉を紹介するために發生しまた工場の和樂のために作られたものもありその動機にたいては功利的なものもあるが民ようを愛し、民ようを善用し、これまでの民ようを更に藝術味あらしめるものとして喜ぶべきことであります文藝のうちに最も大衆的である詩の普及としても喜ぶべきことであります、私はこの新民ようの方向について出來るだけ實例を擧げて御話します。

明日の吉凶
舊暦一月二九日　新暦三月十日

▲一白 美衣美食に流れず桂を守れば吉日たるべし▲二黒 一旦のなやみはありとも後は却て安樂となる▲三碧 焦るときは手中の寶も失ふことあり注意▲四綠 思慮分別の鈍る日諸事目に問ふが安全▲五黄 收支に目を配りて油斷なければ吉日となる▲六白 一時の辛抱より大なる幸島を牛み來す日▲七赤 隆運に向ふ日旅行企業入學名弘め何づれも吉▲八白 出世の途開け來る好運日增資增築何づれも吉▲九紫 目上に反抗する氣分の長ずる日十分愼むべし

講談 幕末[illegible]
（179）　渡邊默禪作　宮野歌春畫



雪江はつり下した土瓶と辨當とを取りて
「清吉折角の御親切だから戴いて置きますが、併し妾しを救ふ爲に無理なことをしてひよつこり發見られでもすると、それこそ大變だわ、慈悲も情もない鬼のやうな人だち、どんな辛い目に遇はすか知れません、私よりもお前の身が大事だから、ね清吉や、是う是ッ切りにして止して呉れ、私しはどうならうと心配おしでないよ」とこ聲で言つた
唯一の救主それを賴みに精一杯の骨を折らせ踏臺にしてなりと今の苦境をのがれやうとあせるのが此の場合に當然な欲望である。けれども雪江はそんな氣にはなれなかつた、我が爲に年齒のゆかぬ少年を犧牲にして人鬼の手に慘酷な苛責を受けさせるのがいかにしても忍びぬことだと思つたのである。
「エヘ、」と清吉は笑つて
「御戯談でせう、お孃さま憚んながら此の清どんはそんな間抜ぢやアありませんよ、發見られて堪るもんですか、取つて來いと被仰るなら內儀さんの丸髷番頭どんのお尻の肉でも美事切取つて來て御覧に入れますよへ、」と無邪氣なことを言つて
「お孃さん、夜具が無くつて困りでせうね」
「いゝえ、無くつたつて凌げます」
「嘘を被仰い風邪を引きますよ、寒けりや孃さまこうなさい、二階へ上ると窗の流れの衣裳がドッサリ有りますからそれを曳摺下してれ召じなさい、なに構ひませんよ」
「そうかね、有難うよ」
「それから何が困るでせうね、便所が……お孃さまどうします、俺ンだちなら二階の窓から夕立を降らしてやつて驚かしてやるんだけれども、尊孃は眞逆……む好い學がある、何でも晝間這入つて見た時に其の片隅にぼろッ屑を詰込だ葛籠があつた、彼物が調法でいゝや」
「オホ…、何をお言ひだよ」
頼る尾ろう――併しながら此際に取つて重大なしから緊急の問題であつた。幼少年よくも氣が注く。雪江は顔を紅めて笑つた
「エート未だあるぞ、た孃さん、明晩か明後日の晩まで御辛抱なさい、私こつそり鍵を盗んで來て其の錠前を開けて上げるから尊孃た逃げなさい、愚圖々々してると殺されて了ひます、逃出して何處かた必惡い家へ隱れてゐらつしやい、ね、さうなさいよ」
雪江は考へた。此のすゝめを幸ひに懸落して兄の許へ身を潜さうか、爲やうと思へば能きぬことではない、そうするのが最良の方法かも知れぬ、けれども固より犯した罪のない潔白な身である。微塵も後晦い弱味を有たぬ自分が狐鼠々々潜匿れをするにも當らぬことである、それも自力で爲ることなら未だしも小児をだまして踏臺にしたと後で言はれては恥辱になる、出るなら公然晴れて出たい堂々大手を振つて出て彼の二人に身を明かさしてやりたい而して邪の正に勝たぬことを誇つてやりたいと思ひ直した。

醸造元 銘酒 清世界
各炭鑛御用達
石城小名濱町 清水屋 小野晋平
電話六番

高級貸切自動車
開店披露
自動車御用ハ 電話三四三番（サシミ）
平驛前 昭和タクシー 澤正臣

電燈より接續してすぐ寫る 家庭活動寫眞
パテーベビー活動寫眞機
映寫器 八〇、〇〇
撮影器 六五、〇〇
フヒルム 一本 二、五〇
生フヒルム 一本 一、〇〇
市內はお伺ひして御覧に供します 御申越次第カタローク進呈
パテーベビー社代理店 平町二丁目 西村屋藥舖 長電話三番

◎瓶詰販賣滿一週年紀念
銘酒 由良乃助 特撰賣出し
壹升瓶詰 一本 壹圓四拾錢（空瓶交換レツテル付）
壹斗樽詰 一本 拾貳圓（樽ヌキ）
（但從來の瓶詰價格並に空瓶交換の方法は從前通り）
平町四丁目（平驛通り） 永山酒造店總發賣元 電話二〇七番

春の彩り装ひは三井へ
羽二重 九寸
博多 九寸
京御召と錦紗小紋
主婦ノ友三秀會特撰 帯皮陳列
何卒御用命ハ弊店へ
平町 三井呉服店

內科、小兒科（院長每日診療）
院長 醫學博士 難波睦
副院長 醫學士 五十嵐雄次
內科部長 中西林藏
外科一般
外科部長 醫學士 氏家憲介
毎日曜手術 醫學博士 鈴木退輔
産婦人科、女子泌尿科
産婦人科部長醫學士 五十嵐雄二
顧問 醫學博士 川添正道
×光線科
主任 醫學博士 難波睦
本院醫事法制囑託 法學士 岡蕃
本院主事 賀澤忠治
御大典記念事業トシテ
一衛生試驗所（共濟病院內）十一月一日ヨリ開始
一病氣相談所（共濟病院內）十二月一日ヨリ開始
一救療所（共濟病院內）十二月一日ヨリ開始
◎看護婦見習募集
磐城 共濟病院 平町電話六四一番

內科 小兒科 皮膚科 花柳科
平町舊城跡（城山）
青沼醫院
醫學士 青沼淡夫
電話四〇三番

俺が服見よ、自慢ぢやないが かわぬ者ない正札堂 アラ正札堂
物は試めしよ、正札堂へ 來てよ見さんせい服かへに アラ服かへに
薄利多賣はこの店の主義 不景氣なかせの福の神 アラ福の神
正札堂

X光線科 外科專門
入院隨意（自炊の便あり）
平南町 上田外科醫院
電話一二九

安全第一
諸債券、公債ノ御用ハ迅速簡易ヲモツトートスル弊店ヲ精ニ御利用クダサイ
營業課目
勸業債券 復興債券 公債其他 兩替 金融
質物一般 取扱
多田井商店
平町大工町

常磐炭礦を中心に 無産三巴の混戰
社民黨の目覺しい進出に 押される舊勞黨

磐城、入山の二大爭議に大慘敗を喫し再起の望み皆無を觀られてゐた常磐地方に於ける勞働運動は其の後當時の日本坑夫組合常磐聯合支部を始め必死となつて退勢の挽回に努めて來た結果最近に於ては

昔日の觀 はなくとも可成の進出振りを見せるに至つたが從來大衆黨、舊勞農黨系の勢力下にあつた常磐地方に突如社民黨が躍進を企劃して割込み其の後の奮鬪は全く物凄い程で過般社民黨中支部を設置するや瞬時にして大衆黨舊勞農黨の二大勢力に喰ひ込み現在に於ては全く三派鼎立の形であるが社民黨は幹部と鳩首勢力擴張の對策に腐心し社民黨結黨準備に奔走してゐるから表面沈靜にあつた常磐地方も漸次

活氣を呈 するに至つたが社民黨平結黨準備員廣瀨貞君等は昔時の最大地盤たりし磐城炭礦を始め古河入山、小田、茨城等に亘つて黨員獲得の直接運動を開始したので一方大衆、舊勞農の二黨は此れに對抗して現勢力の維持に努力すべく幹部連は盛んに活動狂奔中であるが社民黨の喰ひ込運動に對抗し現勢維持は頗る困難と見られ漸次蠶食された結果社民黨準備會のために或は全く驅逐されるの運命に陷るものではないか？言はれてゐる

高久出身の志賀氏
電氣機械の發明に成功
知友や有力家後援で 會社組織の計劃

石城郡高久村出身、平町城山三ノ丸志賀一幸氏は磐中卒業後仙臺東北大學に在りて專ら電氣化學の研究に沒頭し更らに北海道、樺太等に渡航して倦まづ怠まず斯業の研鑽に努めた功空しからず遂ひに自動變色電燈機を初め各種の發明に成功し

這般歸省 したが之の研究の爲め財産をことごく使ひ果し生活にさへ窮するに至つたが親戚知人の同情による家族の生計を繼け更らに研究に沒頭してゐるが今日まで特許を得たもの數種を初めなほ出願中のもの電光萬年筆便利調子便利ふろその他數種におよんでをり研究中のものには軍事上秘密として陸軍省から口外を禁じられて居る解體運搬が

極簡單で 僅の場所があれば滑走なしで飛行出來る戰時用飛行機等驚歎するものがある而して更らにこんど發明した復式點滅電燈機は電氣の『線抵抗』と『電流差』とを應用した至極簡單なもので現在ある點滅機の樣にモーターの必要なくどこにでも運般出來點滅の變化遲速等が自在でありまた變化が微妙になつて居るのと家庭の電燈線から直接取付られるため僅の費用で電車その他あらゆる方面に利用出來る理想的のもので學友その他の有力家が志賀氏後援會を組織し合資組織により

大規模の 發明品製作並に販賣の一大會社を創立せんと目下奔走中で前途を期待されてゐる

紹介所の門を叩く 智識階級の失業者
注文が求人側と合はず 紹介所も手餘し

石城郡地方は前年來諸炭礦の不況から各種營業に少なからぬ打擊を與へ各會社、諸工場とも縮少に縮少とたり隨つて失職者は單に勞働者のみに止まらず智識階級者流の失業者が津波の如く押し寄せ現に平職業紹介所の門を叩いて何かの職業にありつかんとするもの毎數名を下らぬ實狀で紹介所當局では鋭意これらの斡旋紹介に努力してゐるが何せ之れらの求職者は多く專門學校程度の者で理想も高く求職について種の希望條件かさらでだに人物過剩の昨今求人側との條件と相離れること遠く隨つて就職者は申込數の約一割にも充たぬ有樣で當局も手燒いてゐる

木炭組合費
石城郡は好成績

磐三郡木炭同業組合の昭和三年度に於ける組合費賦課金の未納は石城郡三百六十五圓、双葉郡三百八十六圓相馬郡三百七十一圓と云ふ極めて不成績であつたが石城郡は成績良好で組合費負擔者は二千四百八人で一人一圓の負擔である。

懷かしの平町よ
助川にて　柏木哲

逢。坂兩兄足下

坑內排水の湯氣に春の目ざめを促された新川端の櫻は春日煦々たる枝頭に日毎紅蕾を膨らませつゝある事と存じます、私等夫妻はいま末知の世界に飛び込んだ好前から何事も知らずに嬉々として駈け廻つてゐる、侃一洋二の腕白振りに一しほの哀愁を唆られ乍ら愛着の平町に深い念ひをはせてゐます。

逢。坂兩兄足下

今朝た城山の鐘が鳴らぬのをいぶかしみ乍ら目をさました私は、眷戀思慕の平町どは打つて變つた助川の宿舍に一夜を展轉反側して惡夢と盜汗に惱みぬいたいぎたない自分と云ふものを發見した時、私はもうたまらなくうら悲しくなつて不惑男にあるまじき不覺の涙にくれたのであります。

逢。坂兩兄足下

長い間お世話になつた多くの人々、その內には骨肉近親もたゞならぬ涙ぐましい感激の交際を續けて來た人も少くはありません、赤井の秀峰、夏井の清流、さては炭礦の煤煙や溫泉の香りや、そうした石城の人と自然にはぐくまれ遂然としてそこを離れねばならなくなつた私達の運命は世にも哀れな現實と申さずして何と云ひませうか。

逢。坂兩兄足下

人と云はず自然と云はず今後再び石城に在つた日の恩寵を求め得る事出來ぬ私達にとつては所謂駘蕩の春風も蓋し遊子の胸の琴線を搔き亂す落突の秋風同樣ですこの際の私達に『會ふや柳因別るるや絮果』なる樗牛博士の名句――私が少年時代よりすきであつた――はまたなく悲しい言葉になつてしまひました。

逢。坂兩兄足下

わが汽車は日立に近し天ぎらふ大煙突の吐く煙り見ゆ

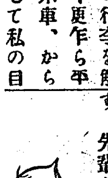
私はいつか東京よりの歸りに車中で惩うした歌を口すさみました、當時暮れゆく連山の頂きあたり靜かに流るる黑煙を輕い旅の興と云つた氣分で眺めた私にとうして今日この地に所謂港の唄に涙ぐむさすらひの人の悲哀を味ふ事にならうと想はれたでせうか、

逢。坂兩兄足下

早春三月二日の午前私達親子四人と我等の上を案じて送つて來た母と義母との六人はここに乏しい行李を解きましたそして今更乍ら平町に繫る追憶の糸車、から〱と手操り出して私の目がしらは熱くならずにはゐませんでした。

逢。坂兩兄足下

私は決して宿命說の假聲をつかふものではありませんが侃一が生れてはじめて人の子の父となつた三月二日いはらきに入社した三月二日、その三月二日を以てこの助川に參りました、私達にとつては餘りに奇しき三月二の時間的因緣よ！玆に私の僞らざる感想を述べて在平滿八ヶ年に亘る御聲援と出發前後に於て賜はりたる御懇情を深謝いたします。先輩よ知友よ幸あれ



町村會議員 選擧取締事項（中）
其の協定內容

選擧運動の費用

一、選擧運動の費用は衆議院議員選擧法の趣旨に則り左記制限を超へざること

但し市町村における實情を參酌しその限度內において所轄警察署長は更に增減協定するを妨げず

（イ）選擧人名簿確定の日に於て之に登載せられたる有權者數五百人未滿なるとき　五〇圓以內

（ロ）同五百人以上千人未滿なるとき　一〇〇圓以內

（ハ）同千人以下五千人未滿なるとき　二〇〇圓以內

（ニ）同五千人以上なるとき　三〇〇圓以內

二、選擧運動の費用は選擧事務長にあらざれば支出することを得ざること

但し議員候補者又は選擧運動員は選擧事務長の承諾を得てこれを支出することを得ること

（三）選擧事務長は支出簿（十三號樣式）を備へ選擧運動費用の一切を記入し置き選擧終了後精算書（十四號樣式）を作製し選擧期日より十四日以內に所轄警察署に屆出づる事

四、選擧運動の費用の支出をなしたるときはその都度領收書その他支出を證すべき書面を徵し支出を明瞭にし置くこと

五、選擧事務長以下所轄警察署に屆出たる選擧委員に給與する實費、實物及選擧事務員の報酬額は別表の範圍を越えざること

六、選擧事務員に非ざれば選擧運動をなすに付報酬を受くることを得ざる事

七、選擧運動員は前項以外に金錢物品の給與を請求せざること

八、選擧運動員と雖も實際運動に從事せず又は運動に從事するも宿泊料その他の名義にて實費を給與すべき必要なき場合は給與せざること

九、選擧運動員に給與すべき辨當は成るべく現物を給與すること

一〇、選擧事務長は選擧終了後警察官吏より選擧運動費用に關する帳簿又は書類の閲覽を請はれたる場合は直ちにこれに應じ說明を加ふること

一一、選擧に關する書類帳簿は選擧終了後一ヶ年間保存すること

警告事項

議員候補者並に選擧運動者に關する事項

一、選擧權を有するものと雖、選擧事務に關係ある官吏公吏を選擧運動員に選任せざること

二、選擧事務所に使用する使丁、給仕の如きはその性質全く選擧運動員と異なるも若しこれ等の者にして選擧運動と認めらるべき行爲ある場合は選擧運動員と看做さるゝこと

選擧事務所に關する事項

一、選擧事務所に候補者又は選擧運動員以外の者がみだりに出入することは選擧運動員と看做さるゝ場合あるを以てこれを避けしむること尙候補者、選擧運動員宅に付ても同樣なること

二、第三者が選擧事務所內において演說會或は推薦狀の事務を執るは選擧運動員と看做さるゝを以てこれをなさざること

三、選擧事務所は選擧の當日に限り投票所を設けたる場所の入口より三町以內の區域にこれを置くことを得ず

四、休憩所その他これに類似する設備は選擧運動のためこれを設くることを得ず

平署でまた 賭博狩り
近く大檢擧

平警察署では舊臘十二月中から季節的一般犯罪防止のため特別警戒に努め殊に賭博團一味の掃蕩に努力した結果去る二月中だけで十五件四十餘人の賭博を檢擧し得たこと既報の如くであるが平署のこの大賭博狩執行に依つて一時全く影をたつた賭博團が最近また〱當局の目を偸んでは弄花や丁半が盛んに行はれ初めたので平署では全管內に亘り今度こそは徹底的に掃蕩すべく近く一大賭博狩を執行することゝなつた

亭主の夜遊びを 嬌めんとの淺智惠
一切ホラと判明した 白銀の强盜騷ぎ

平町白銀町阿部憲次（三九）留守宅に昨七日午後十時五十分頃拔刀した怪漢が押入り同人妻ツヤ（三六）を脅迫して七十五錢を强奪した强盜事件は既報の如くであるが平署では被害者の陳述に不審の點があるので嚴重な取調べの結果右は當夜ツヤ外子供四人が熟睡してゐると同家東方小島小屋のガラス戶を何者か〱開ける音にツヤはてつきり强盜の仕業と早合點し十一時半頃歸宅した夫に此の事を告げたので憲次は早速平署に屆け出たもので夫の夜遊びを嬌めんとする女房の淺智惠と判明說諭の上放還された

平驛改築工
十日より起工

平驛る改築工事は既報の如く七日東京鐵道局において五名の指名入札を行つた結果平町合資會社丸山組が四萬三千圓に落札いよ〱明十日より工事に着手する事となつたが竣工までには百餘日を要する豫定である。

田租稅納入好績
僅か百九十圓を殘し 所得申告の調査

平稅務署管內に於ける昭和三年前期田租の納稅成績を見ると二月末日迄の納期までに納稅した金額は三萬一千六百四十四圓四十錢で未納額は僅に百九十四圓四十六錢にすぎず好成績であつたが更らに同署では所得稅の申告書を管內全部に配布し申告をなさしめつゝあるが、申告成績は極めて不良で、申告收容は不五確なものが非常に多いので、同署では此申告書を一應とりまとめてから嚴重なる調査をなす由

竹細工講習會
石城

石城郡農會主催竹細工講習會は昨八日より十四日まで七日間入遠野村に於いて開催すると。

四倉町の 惡周旋屋
犯罪二十三件

石城郡四倉町元町周旋業渡邊寅太郎（三三）は數年前から東京ノ惡周旋屋ゝ聯絡をとり婦女誘拐、詐欺橫領を働いてゐたこと發覺五日夜四倉署で檢擧に向つたことを知つて逃走したので手配により七日夜東京淺草千束町の某周旋屋に潛伏中日本堤署の手に捕らはれ四倉署から瀨谷刑事が身柄引取のため上京した同署で取調べの結果婦女子を專門に誘拐し上海方面に賣飛ばした事實あり被害調査中だが判明したものだけでも二十三件に達し東北六縣外に及んでゐると

藏皇神社昇格

勿來町出藏村社藏皇神社祭禮は九日陰曆正月廿八日で遠近の參詣者で雜踏するものであるが同社は安閑天皇を祭神として日本三藏皇の一として小供の蟲切婦女子の針の上達に靈驗顯著であると

基督敎講演會
平町

材木町バプテスト敎會では來る十日午前十時からと午後七時からの二回基督敎講演會を開催するが講師は前水戶高等學校敎諭文學哲學博士ケナード氏である

川部巡查善行
石城

郡川部村巡查駐在所勤務富田彌吉氏は模範巡查として村民より慕はれてゐるが去る六日同村長兒玉萬平氏及び消防組部長芳賀保の兩氏は植田警察署に出頭し後藤署長に對し同巡查表彰方を陳情した

陸軍記念日
入山分會で擧式

石城郡入山在鄉軍人會では明十日陸軍記念日の佳晨を卜し入山小學校に於て祝賀會を催すが式順次の如し

一、君が代合唱（全員）
一、勅諭奉讀（會長）
一、軍事講演（山內砲兵大佐）
一、講談餘興（未定）
一、萬歲三唱

以上

平町人事

△出生

平町六軒門伊藤直一二男正男

平町立町諸橋淸三女麻子

平町仲間町茂野信次郎三男行男

かみくづ

◆日韓併合といふ國家的の任務の爲め、長らく休業中であつた△△△が何喰はぬ顏して座敷に出てる、聽けば十月かゝつた物が暗から暗へ葬られたとは、誠に御愁傷さまと申上げて置く◆藝者でも暴行に對する防衞は嚴重を極めてる心掛け好いのがある、そして此頃のお客は惡化してるからスカートやミヤコでは駄目なのだが、今時にそんな用心してる藝者は數取りで皆んなよなんてナマを言つてる◆暴力團歡迎、暴行オーライで却つてお客の方が怯へてる◆有るところに無いのが刑務所とは解らないと電話があつたから解釋するとアレは矢ッぱり誤植でケイムシヨといふシヤレだそうな

生徒募集

◇婦人にも職業の必要な時代が參りましたそして婦人に最もふさわしい職業は……

產婆・看護婦でしよう

一ヶ年で卒業が出來、收益も多大で又家庭の一助ともなる產婆及看護學をお薦め致します

（入學無試驗）

平南町　平產婆看護婦學校　淸野きよ

◇申込期日四月八日迄　電話三〇七番

夜間診療

胃腸　內科　十二指腸虫病　專門　內科部

梅毒　淋病　婦人病　皮膚病　專門　外科部

松村胃腸性病科醫院（平南町電話一〇七番）

ホシシクロの特賣

花柳病の豫防藥　バイドク、サウドク、リンドク、良く殺虫致します

注意　然し子供の欲する人は使用していけません

定價　五拾錢　壹圓　貳圓

平町三丁目　星製藥磐城配給所

毛糸

防寒用には　丈夫で暖い　英國製毛糸

一オンス　十九錢　二十五錢

手藝材料　ハシモトヤ糸店　平町田町

新築落成

耳、鼻、咽喉科　氣管食道科（專門）

平町南町（舊診療所向電一七〇番）

大和田醫院　大和田郡司

自炊の便あり